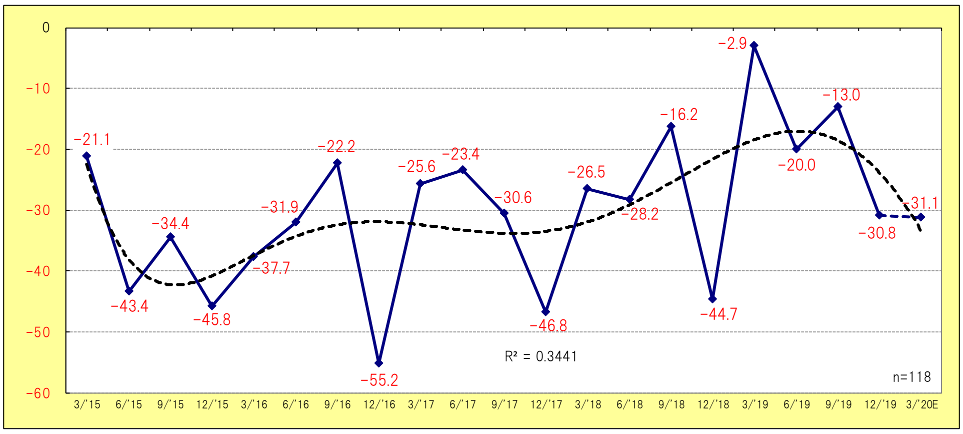
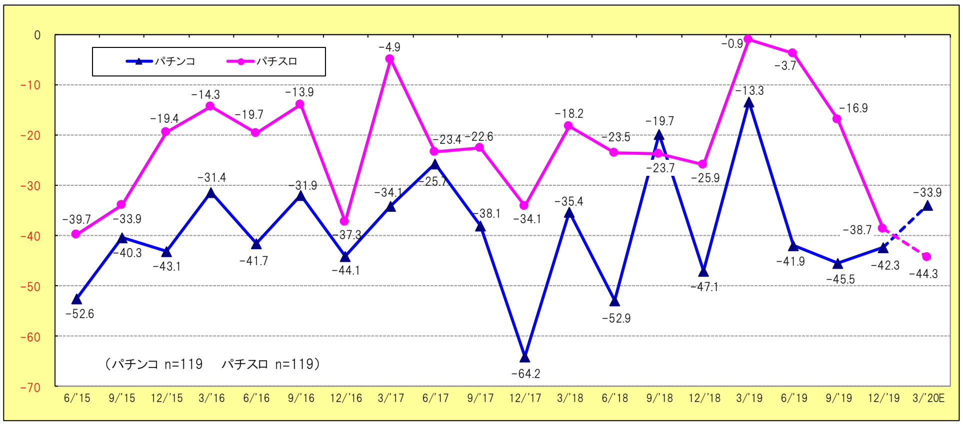
第 79 回　パチンコ景気動向指数(DI)調査報告書
2020 年 1 月

要点

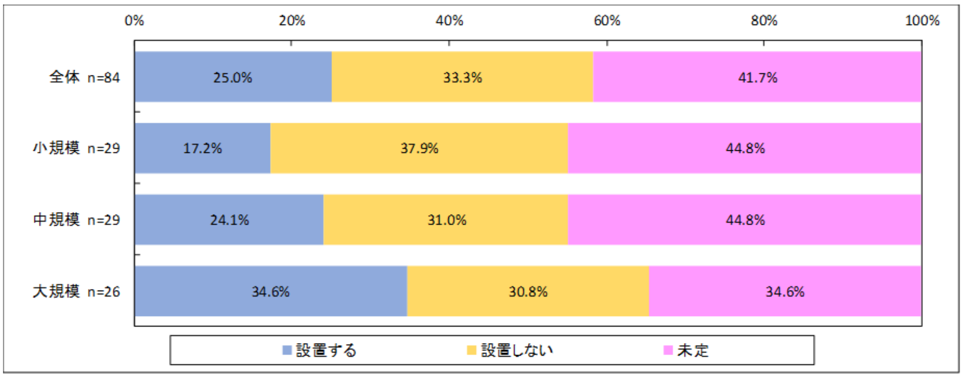
■全般的業況の推移：19 年 12 月大幅に悪化



■稼働状況（パチンコ・パチスロ別）：パチスロ悪化、パチンコは持ち直すか？



■加熱式たばこ専用喫煙室の設置： 25%が「設置する」



◇回答状況

84 企業、119 地域（複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり）

主要指標数値(DI 値)結果

■全般的業況は悪化、パチスロの悪化が際立つ

「全般的業況」は▲30.8 ポイント(前回比 17.8 悪化)まで落ち込んだ。3 カ月後は▲31.1 ポイントと概ね横ばいで推移する見通しである。

「稼働状況」は、パチンコ▲42.3 ポイント(前回比 3.2 良化)、パチスロ▲38.7 ポイント(前回比 21.8 悪化)となった。3 カ月後の稼働状況の見通しは、パチンコ▲33.9 ポイント、パチスロ▲44.3 ポイントとなっている。

「資本投資気運(遊技機)」は 1.9 ポイント(前回比 7.0 悪化)まで落ち込むも、3 カ月後は 8.0 ポイントまで回復する見通しである。「資本投資気運(その他設備)」は 1.0 ポイント(前回比 0.2 悪化)と概ね横ばいで推移し、3 カ月後は 15.0 ポイントまで回復する見通しである。

「不足感(雇用人員)」は、前回の▲44.2 ポイントから▲43.4 ポイントまで悪化、3 カ月後は▲36.2 ポイントまで回復する見通しである。

【主要指標数値(全体)と業界天気】

項目	業界天気（下段：DI値）			コメント
	前回	今回	見通し	
1. 全般的業況	-13.0	-30.8	-31.1	現状は雷雨に悪化 見通しは引き続き雷雨
2. 稼働状況（パチンコ）	-45.5	-42.3	-33.9	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨
3. 稼働状況（パチスロ）	-16.9	-38.7	-44.3	現状は雷雨に悪化 見通しも引き続き雷雨
4. 資本投資気運（遊技機）	8.9	1.9	8.0	現状は引き続き曇り 見通しは引き続き曇り
5. 資本投資気運（その他設備）	1.2	1.0	15.0	現状は引き続き曇り 見通しは薄曇りに良化
6. 不足感（営業用設備）	-10.7	-9.6	-15.9	現状は曇りに良化 見通しは雨に悪化
7. 不足感（雇用人員）	-44.2	-43.4	-36.2	現状は引き続き雷雨 見通しも引き続き雷雨

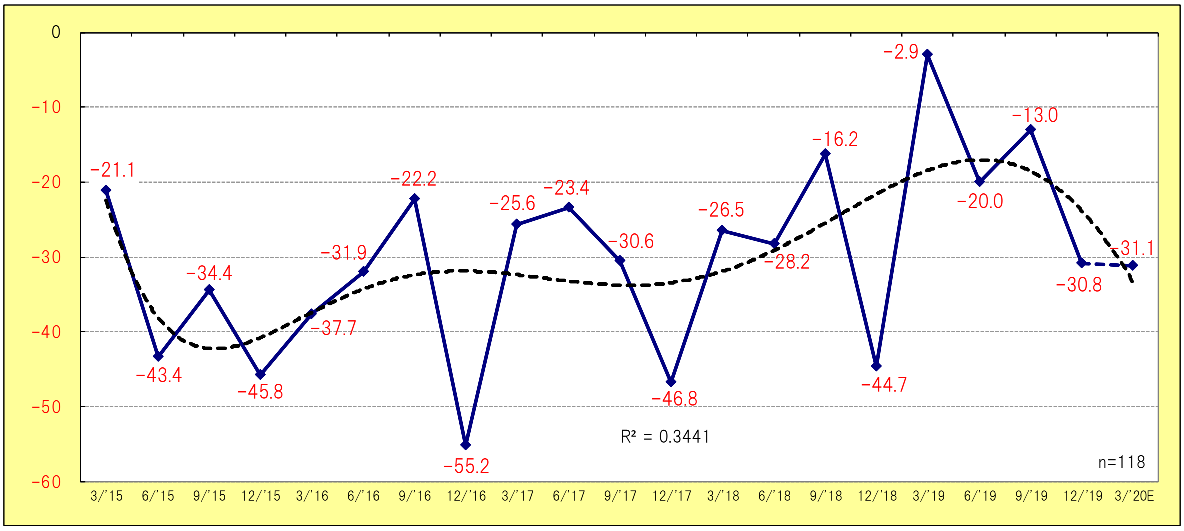
凡例：天気記号の基準 DI 値

記号					
DI 値	100.0 ～ 30.0	29.9 ～ 10.0	9.9 ～ -9.9	-10.0 ～ -29.9	-30.0 ～ -100.0

全般的業況（事業者全体）

注：2020 年 3 月期（3/'20E）の数値は見通し

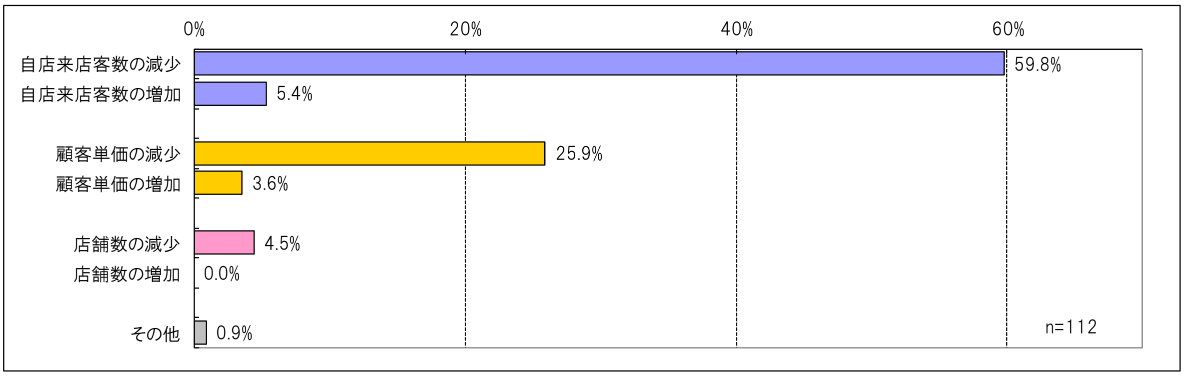
■全般的業況：▲30.8 ポイントに悪化、3 カ月後も横ばいで推移



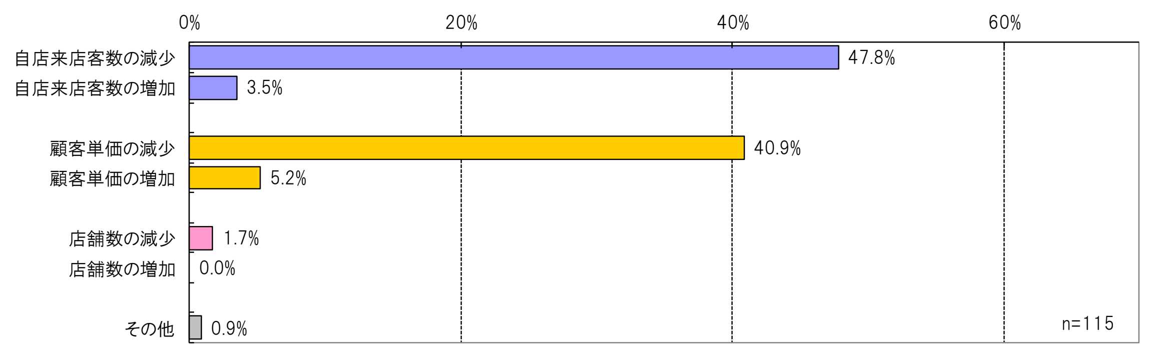
過去 1 カ月の収益や売上、粗利などから判断される「全般的業況」は▲30.8 ポイント（前回比 17.8 悪化）まで落ち込んだ。3 カ月後は▲31.1 ポイントと概ね横ばいで推移する見通しである。例年 3 月期は回復する傾向が見られるものの、人気の高かった高射幸性パチスロ機が 2019 年末に撤去された影響を考慮して、回復しないと考える事業者が多いものと推測される。

■全般的業況の悪化理由：先行きでは「顧客単価の減少」が上昇

【現況（現在を含めたここ 1 カ月）の判断理由】（「さほど良くない」「悪い」と回答した理由）



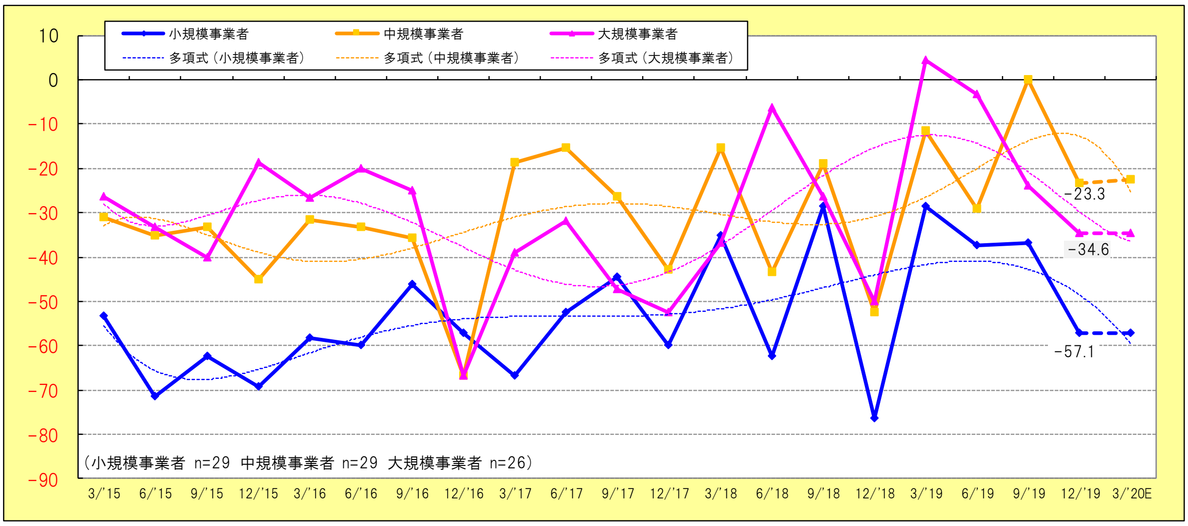
【先行き（3 カ月後まで）の判断理由】（「さほど良くない」「悪い」と回答した理由）



全般的業況（規模別・地域別）

注：2020 年 3 月期(3/'20E)の数値は見通し

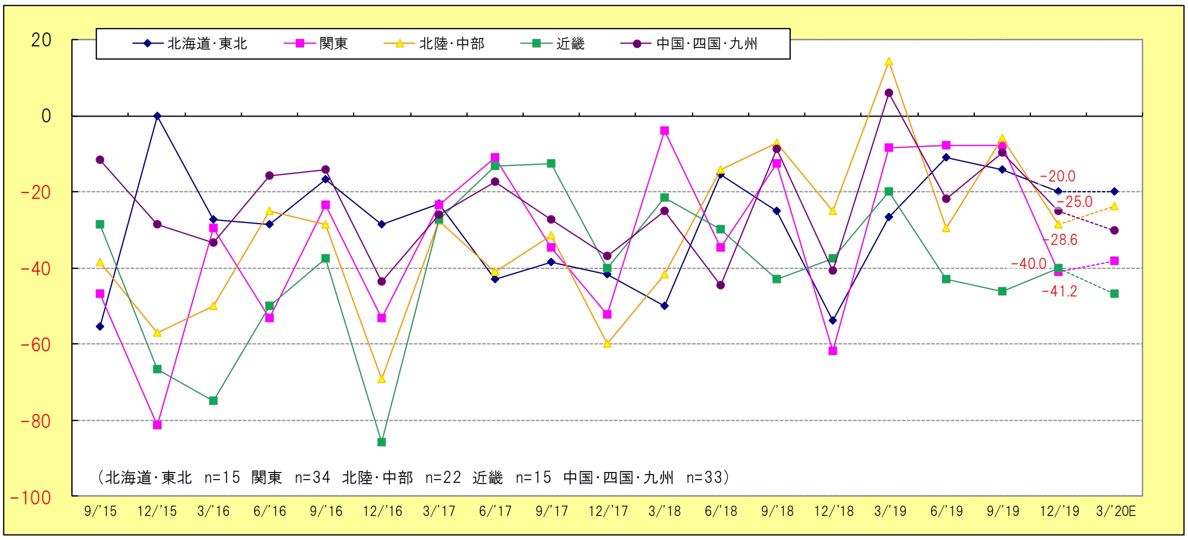
■全般的業況（規模別）：全事業者で悪化



事業規模別の「全般的業況」では、全事業者で悪化が見られた。小規模事業者（1～3 店舗）が▲57.1 ポイント（前回比 20.3 悪化）、中規模事業者（4～10 店舗）が▲23.3 ポイント（前回比 23.3 悪化）、大規模事業者（11 店舗以上）が▲34.6 ポイント（前回比 10.6 悪化）となった。

3 カ月後は全事業者で概ね横ばいで推移する見通しである。

■全般的業況（地域別）：関東の業況が大幅に悪化

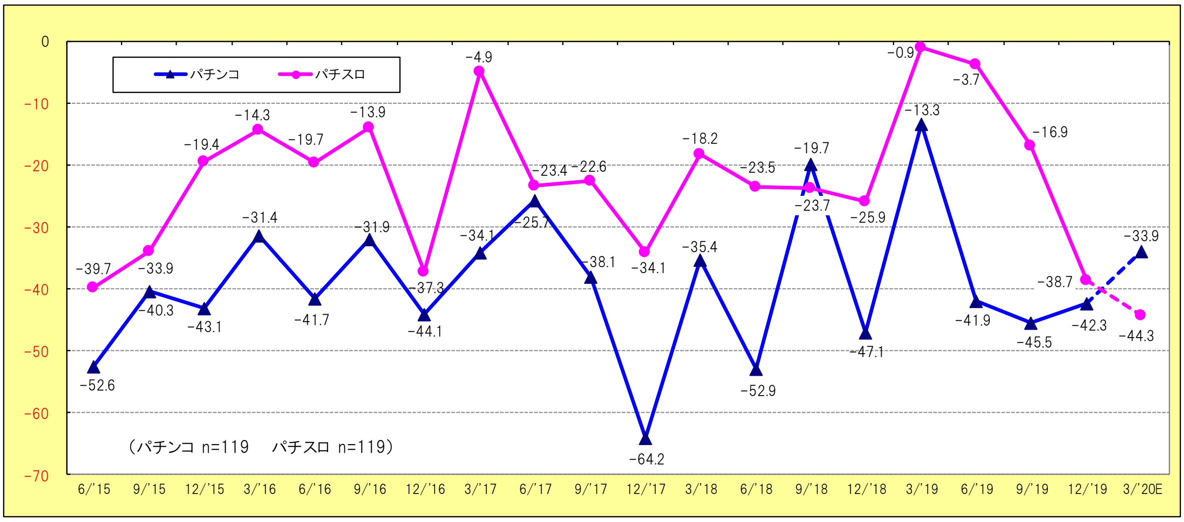


地域別で最も業況が良かった地域は、北海道・東北で▲20.0 ポイント（前回比 5.7 悪化）となった。以下、中国・四国・九州で▲25.0 ポイント（前回比 15.3 悪化）、北陸・中部で▲28.6 ポイント（前回比 22.7 悪化）、近畿で▲40.0 ポイント（前回比 6.2 良化）、関東で▲41.2 ポイント（前回比 33.5 悪化）となった。関東の業況の不調さが目立っている。

3 カ月後は関東と北陸・中部で回復する見通しだが、大幅な回復は見込めていない。

稼働状況（事業者全体）注：2020 年 3 月期（3/'20E）の数値は見通し

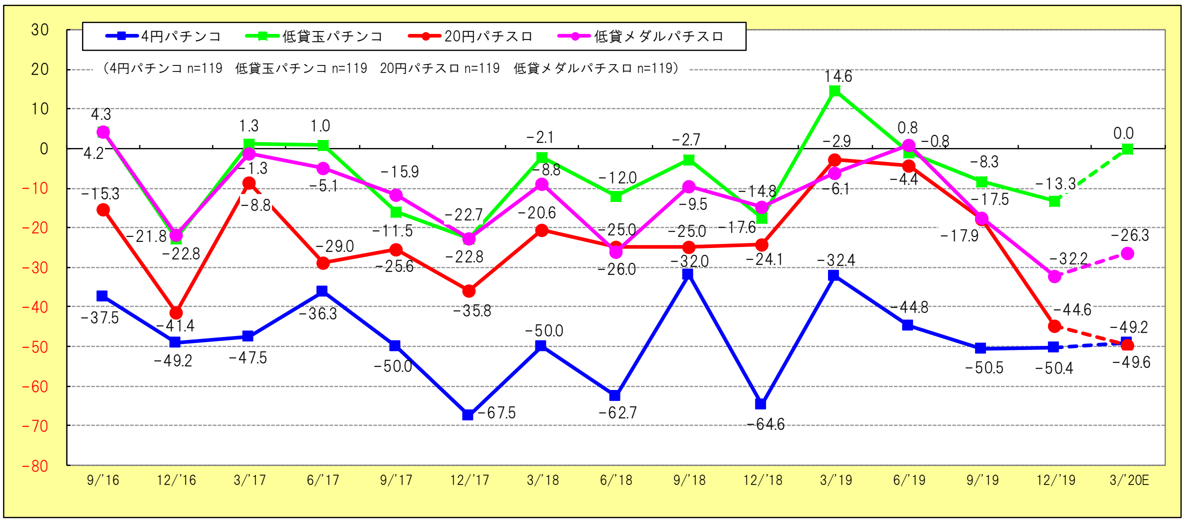
■稼働状況（パチンコ・パチスロ別）：パチスロの悪化が際立つ



パチンコ稼働状況は▲42.3 ポイント（前回比 3.2 良化）とやや回復した。3 カ月後は▲33.9 ポイントまで回復する見通しである。

パチスロ稼働状況は、人気の高かった高射幸性パチスロ機が 2019 年末に撤去された影響を受けて、▲38.7 ポイント（前回比 21.8 悪化）と大幅に悪化した。3 カ月後は▲44.3 ポイントまで落ち込む見通しである。

■稼働状況（遊技料金別）：4 円以外は悪化、20 円は回復が見込めず



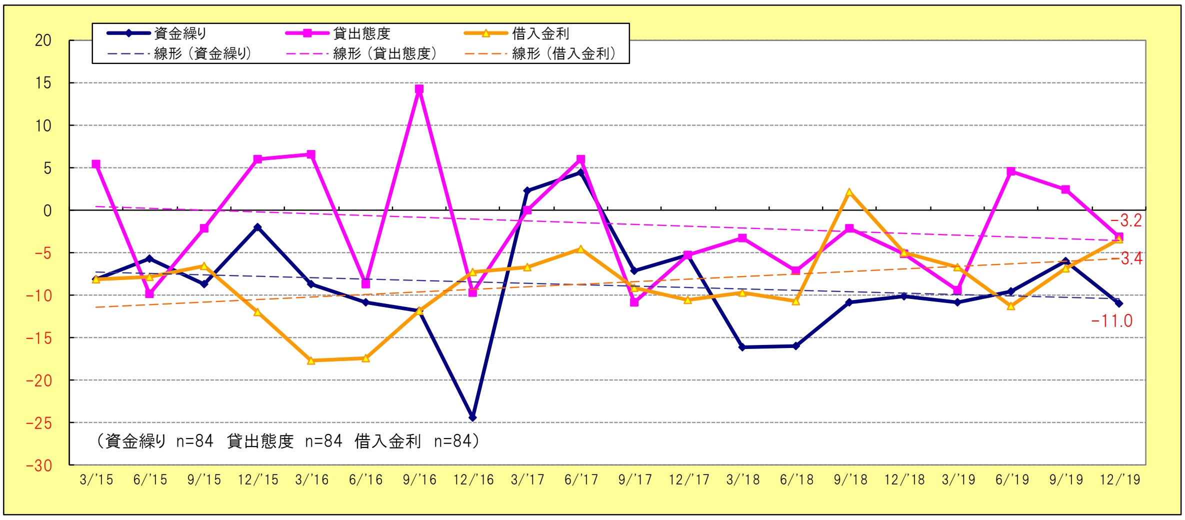
遊技料金別の稼働状況について、4 円パチンコ以外で落ち込みが見られた。

通常貸し遊技料金において、4 円パチンコは▲50.4 ポイント（前回比 0.1 良化）となった。3 カ月後は▲49.6 ポイントと概ね現状維持となる見通しである。20 円パチスロは▲44.6 ポイント（前回比 26.7 悪化）まで落ち込み、2016 年 12 月を下回る結果となった。3 カ月後は▲49.6 ポイントまで落ち込み、回復は見込めていない。

低貸し遊技料金において、低貸玉パチンコは▲13.3 ポイント（前回比 5.0 悪化）、低貸メダルパチスロは▲32.2 ポイント（前回比 14.7 悪化）となった。3 カ月後の見通しについて、低貸玉パチンコは±0 ポイントまで回復、低貸メダルパチスロは▲26.3 ポイントまで回復する見通しである。

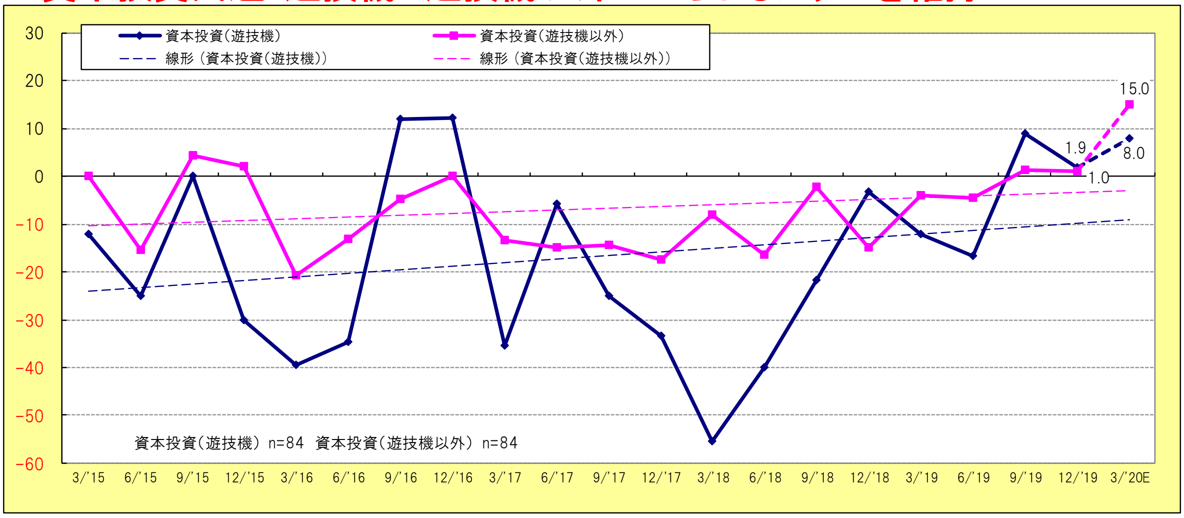
経営の現状（事業者全体）注：2020 年 3 月期（3/’20E）の数値は見通し

■企業金融：借入金利はやや回復、資金繰りと貸出態度はマイナス



企業金融（資金繰り、貸出態度、借入金利）は、「資金繰り」▲11.0 ポイント（前回比 5.0 悪化）、「貸出態度」3.2 ポイント（前回比 5.6 悪化）、「借入金利」▲3.4 ポイント（前回比 3.4 良化）となった。

■資本投資気運：遊技機と遊技機以外のどちらもプラスを維持

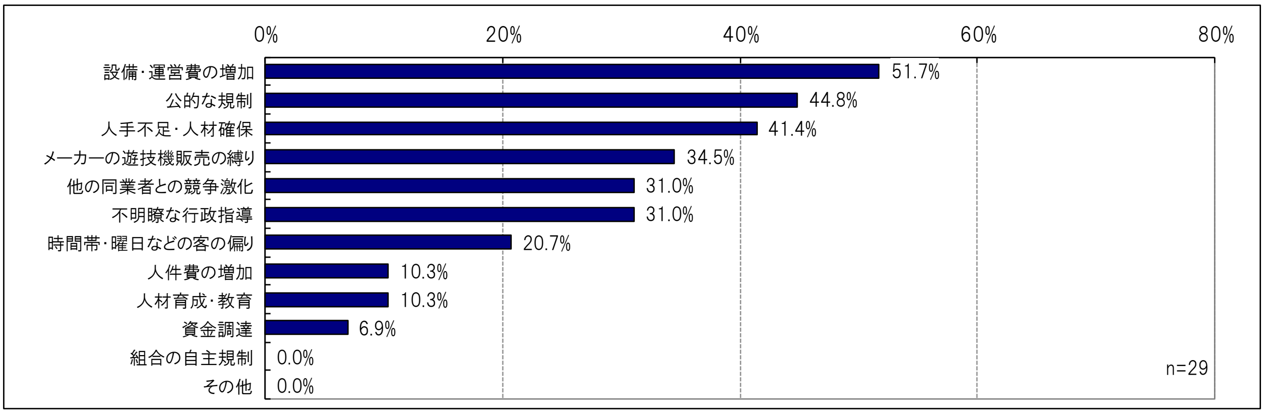


今回の「資本投資気運（遊技機）」は 1.9 ポイント（前回比 7.0 悪化）となった。3 カ月後には 8.0 ポイントまで回復する見通しである。

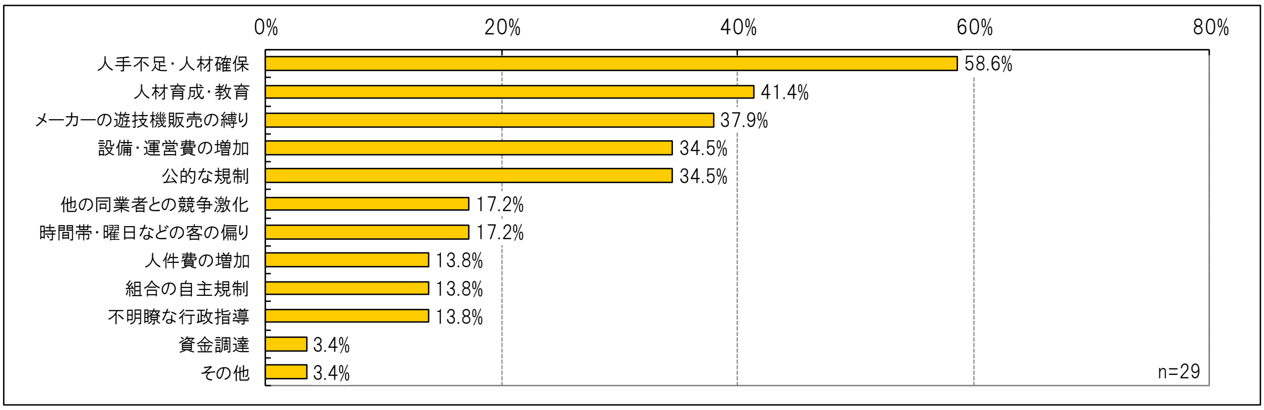
一方、「資本投資気運（遊技機以外）」は 1.2 ポイント（前回比 0.2 良化）となった。3 カ月後は 15.0 ポイントまで回復する見通しである。

経営上の課題（事業者規模別）注：複数回答

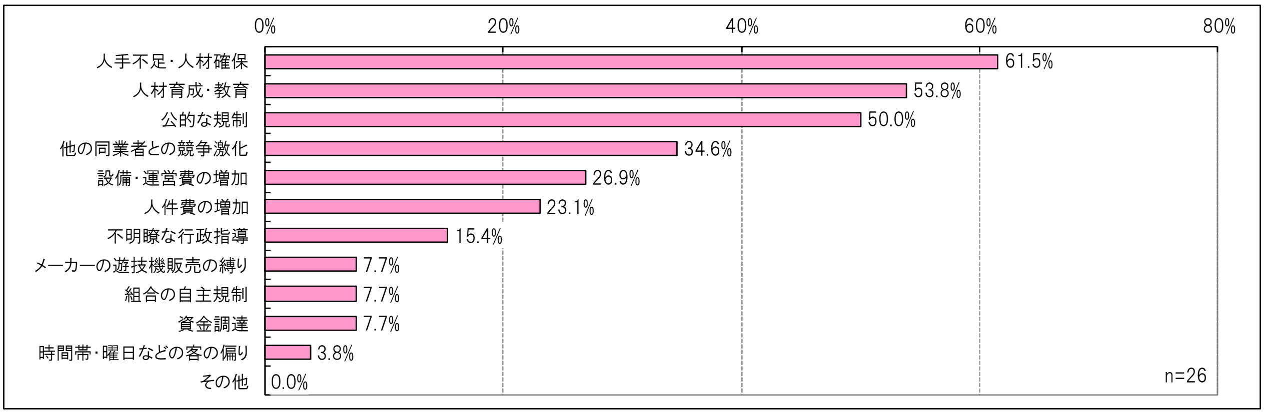
■小規模事業者：設備・運営費の増加が5割以上



■中規模事業者：人手不足・人材確保が6割弱



■大規模事業者：人手不足・人材確保が6割以上、2番目に人材育成・教育



「経営上の課題」を事業者の規模別で見ると、小規模事業者（1～3 店舗）では「設備・運営費の増加」が51.7%と最も高い。以下、「公的な規制」（44.8%）と「人手不足・人材確保」（41.4%）が 4 割以上となった。

中規模事業者（4～10 店舗）も小規模事業者と同様に「人手不足・人材確保」が 58.6%と最も高く、続いて「人材育成・教育」（41.4%）が高かった。

大規模事業者（11 店舗以上）においても「人手不足・人材確保」が 61.5%と最も高い。以下、「人材育成・教育」（53.8%）と「公的な規制」（50.0%）が 5 割以上となった。

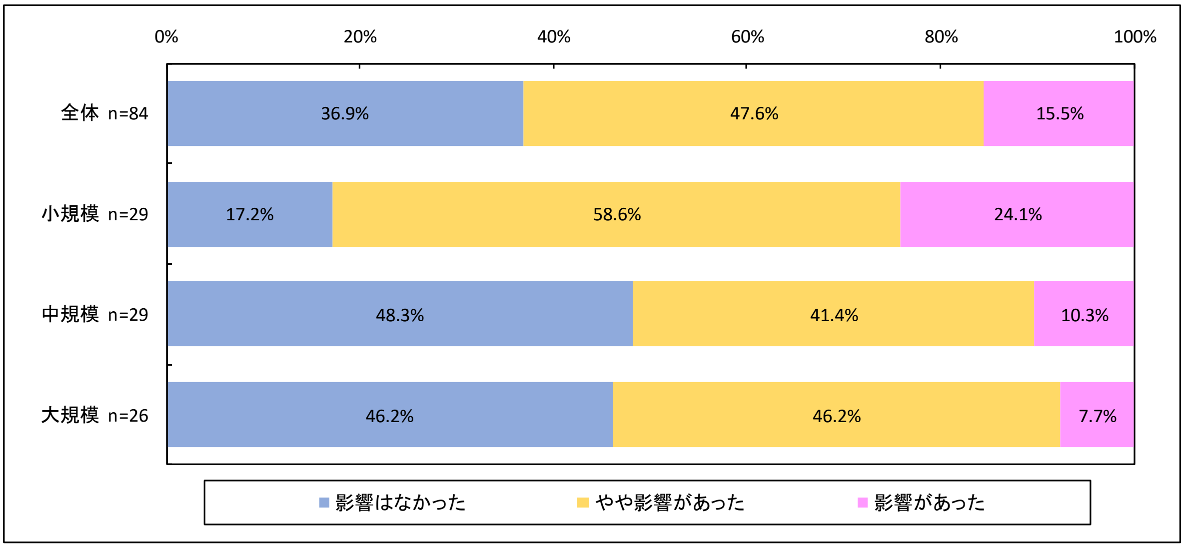
トレンド・ウォッチ「消費増税と受動喫煙対策」

■2019 年消費増税の影響：小規模事業者の 8 割以上が影響を受けたと回答

下図は 2019 年 10 月に消費税が増税された際の影響について質問した結果である。

全体では「やや影響があった」（47.6%）が最も高かった。続いて「影響はなかった」（36.9%）、「影響があった」（15.5%）の順で高く、6 割以上が「影響を受けた」（「やや影響があった」「影響があった」の合計）と回答している。

事業規模別で見ると、小規模事業者は中・大規模事業者よりも「影響を受けた」の割合が高く、合計で 8 割以上が影響を受けたと回答しており、小規模事業者に与えた影響の大きさがうかがえる結果となった。

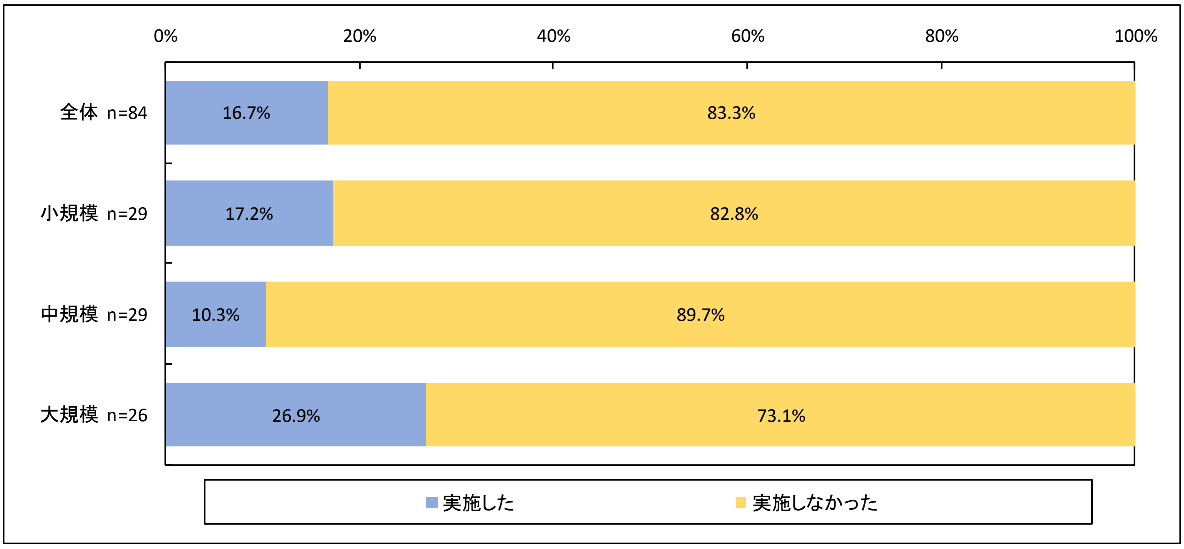


■増税前の前倒し投資：全体では 1 割台後半、大規模は 2 割以上で実施

下図は 2019 年 10 月に消費税増税前の前倒し投資について質問した結果である。

全体では「実施しなかった」（83.3%）が最も高く、「実施した」（16.7%）を大幅に上回っている。事業規模別では、大規模事業者で「実施した」が 2 割以上となり、資金的にも優位な大規模事業者で前倒し投資が見られた。

前倒し投資の内容としては、受動喫煙対策への設備投資の回答が 7 件と最も多かった。以下、遊技機や消費財の購入が各 2 件となった。

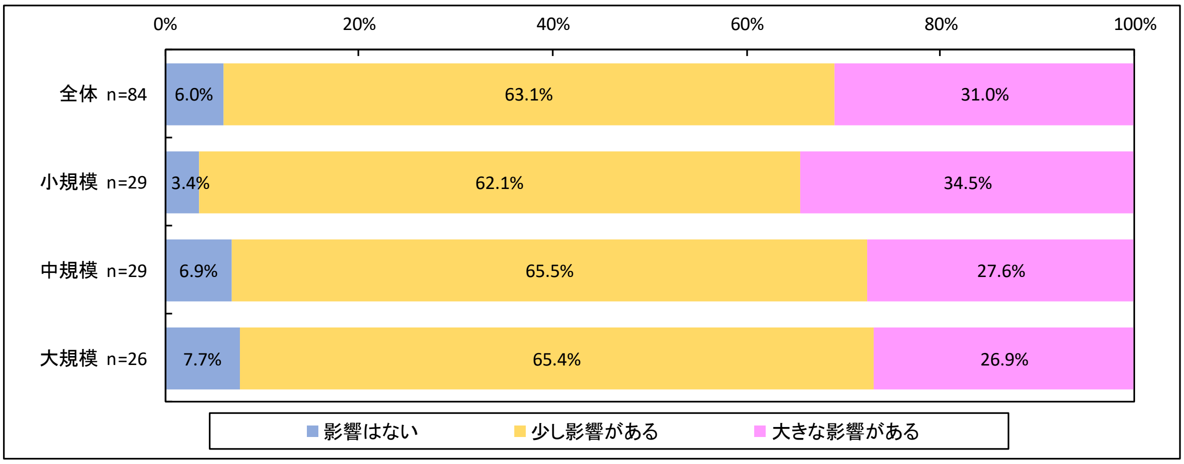


■建物内原則禁煙の影響：9 割以上が、影響を受けると回答

下図は 2020 年 4 月に実施される建物内原則禁煙の影響について質問した結果である。

全体では「少し影響がある」（63.1％）が 6 割以上と最も高かった。以下、「大きな影響がある」（31.0％）、「影響はない」（6.0％）の順で高くなっており、9 割以上が影響を受けると回答している。

事業規模別では、大規模事業者で「影響はない」（7.7％）と回答している割合が最も高くなっているものの、中・小規模事業者と比べて大きな差はない。

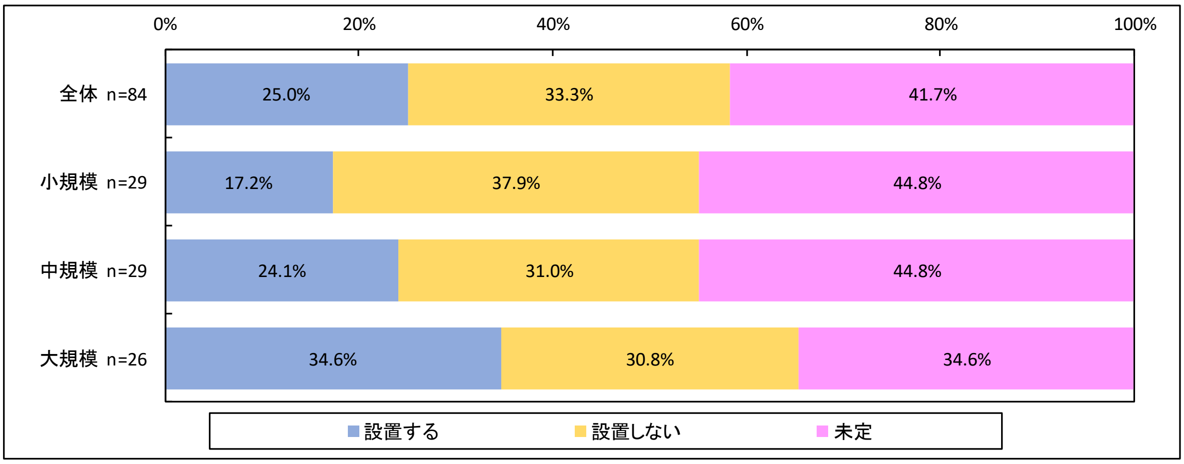


■加熱式たばこ専用喫煙室の設置：全体では 2 割以上、大規模ほど割合が高い

下図は 2020 年 4 月の段階で加熱式たばこ専用喫煙室の設置状況について質問した結果である。

全体では「設置する」（25.0％）と回答した割合が 2 割以上となり、事業規模が大きくなるほど「設置する」割合が高くなっている。

建物内原則禁煙の質問では小規模事業者ほど「大きな影響がある」と回答している一方で、加熱式たばこ専用の喫煙室を「設置する」割合が最も低く、対策の遅れが出ている結果となった。



コメント(自由回答)抜粋

■「消費増税と受動喫煙対策」および、現状・先行きに対するご意見

「消費増税と受動喫煙対策」に関するコメント

■消費増税と受動喫煙対策

◆遊技料金について内税・外税のどちらも選択肢にあるが、**消費税が 10%に留まると思えない**ので、**収入が増えないとこの先の娯楽は厳しい**と思う。建物内原則禁煙について飲食店など他業種も禁煙を徹底できれば不安はない。パチンコ店の喫煙場を求める方はいると思う。(関東・小規模事業者)

◆喫煙室も設備投資が必要になる点で厳しい。**遊技人口が減少するなかで、設備投資する意欲が出ない。**しばらくは静観する。(九州・小規模事業者)

◆パチンコ機、パチスロ機双方の売上・出玉性能の低下に加えて、来年早々に禁煙問題による影響の予測が難しく、喫煙ブース設置で対応する予定だが、いまだかつてない苦境に立たされる。来年は店舗閉鎖がさらに増えるとみているが、顧客層の高齢化もあり、**今では小〜中規模商圏での顧客移動が起きず、そのまま市場自体が縮小ないし消滅する時代**になってしまった。(東北・大規模事業者)

◆いよいよ**絆・ハーデスがなくなったパチスロコーナーをどのように取り繕っていくのか暗中模索**している。そのようななか、喫煙室の見積り・工期日程も決まり、お客様の動向を想像しているが、**経営が成り立つのかで、頭がいっぱいだ**。(関東・小規模事業者)

現状・先行きに関するコメント

■撤去の影響

◆昨年末から 15%規制に対応すべく施策を実施してきたが、結局先送りとなったことで**正直者が馬鹿を見る結果**となった。昨年末までにみなし機撤去の指導があり、一部法人が慌てていたようだが、「何を今さら」という感じだった。**2021 年 1 月に向けて業界でのハルマゲドン**が起こり、そこから新世界が現れるように感じる。その時に備え、一旦全債務を返済し、店舗のスクラップを含めて再構築を図るか否か熟考中だ。(中国・中規模事業者)

◆旧内規撤去後の稼働が気になる。撤去期限までにメーカーが新内規を需要分の台数を供給できるか。(九州・中規模事業者)

◆ここ数年**パチンコ業界への締め付けが厳しい**。許可営業なのである程度は納得できるが、前回の規則改正はやり過ぎだと思う。**このままでは体力のある大規模法人しか生き残れない**。(関東・大規模事業者)

◆検定切れ・みなし機の遊技機の**入替費用が経営に大きく響いた**。認定切れの**遊技台撤去が続き、お客様の遊技をする機会も減少する懸念**がある(すでにバジリスクなどいつも来店するお客様が来なくなっているとスタッフから話を聞いた)。(関東・小規模事業者)

■遊技機購入費

◆遊技機購入費が半分くらいになれば現在の規制下でもなんとかやっていける。(関東・中規模事業者)

◆以前の規則改正での遊技機撤去時と比較して、新台 1 台当たり遊技機費用が倍となっている。**遊技機の高騰が 1 番のネック。**(九州・中規模事業者)

◆来年は入替費用が増えることになるが、**メーカーの機歴販売が最近ひどくなっている**、メーカーによっては企業の倫理観を疑うレベルだ。全く責任を果たしていない。(中国・大規模事業者)

◆相変わらず厳しいメーカーの条件販売が続き、**中小店舗は相手にしなくても、大手さえ多く買ってくれれば良いといった考えが露骨に伝わる**。業界の体質改善は無理ではないか？（関東・中規模事業者）

◆2020 年は規則改正に伴う**入替費用の負担が過剰になりかなり営業を圧迫する**（関東・大規模事業者）

◆規則改正に伴う撤去、たばこの規制、消費増税による影響など**パチンコ店が厳しい状況にあるのに新台は高額のまま**だ。 メーカーの**販売価格や販売方法の改革をしなければ業界は良くならない**。（中部・小規模事業者）

■今後について

◆残り 13 カ月間での新規則機の入替費用増加や受動喫煙以降の稼働状況、オリンピックによる入替自粛などによる影響などが懸念される。（中部・中規模事業者）

◆行政、メーカーなどは何もかも、しわ寄せをパチンコ店にもってきているので、**このままでは業界は衰退の一途をたどる**と思っています。（九州・中規模事業者）

◆しっかりと規制を守り、早く新時代(再来年)に突入して欲しい。（関東・中規模事業者）

◆適格な行政指導および遊技組合の活動内容に違和感がある。（関東・小規模事業者）

◆行政と我々業界、さらにユーザーが三位一体となって業界のビジョンを描くべき。（近畿・大規模事業者）

◆とにかく**先行きが不透明なので、計画が立て辛い**。（近畿・小規模事業者）

◆業界の底が来期であって欲しい。（関東・小規模事業者）

◆業界全体があらゆる面から厳しい状況になっていることをひしひしと感じます。（東北・小規模事業者）

◆飲食業でも全面禁煙の影響は大きいが、**ミスマッチな単価アップは客離れを助長**する。大戸屋の赤字転落ニュースを見て感じたことだが、パチンコ店は飲食とよく似ている。（近畿・大規模事業者）

◆中小企業のビジネスモデルとしてはとっくに破綻している。（中国・小規模事業者）

◆とても大変な状況だ。この先、食べていけるか心配である。（関東・中規模事業者）

調査結果概要データ(DI 値)

■主要指標(事業者規模別)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-36.8	-57.1	-57.1	0.0	-23.3	-22.6	-24.0	-34.6	-34.6	-13.0	-30.8	-31.1
稼働状況(パチンコ)	-47.4	-55.2	-62.1	-33.3	-33.3	-33.3	-52.0	-35.7	-32.1	-45.5	-42.3	-33.9
稼働状況(パチスロ)	-42.1	-51.7	-62.1	-9.1	-40.0	-56.7	-10.7	-21.4	-46.2	-16.9	-38.7	-44.3
資本投資気運(遊技機)	25.0	10.0	12.5	2.7	-5.9	-2.8	3.4	-3.4	16.2	8.9	1.9	8.0
資本投資気運(その他設備)	4.8	8.3	5.6	8.6	-10.0	17.5	-11.5	3.3	21.6	1.2	1.0	15.0
不足感(営業用設備)	-22.2	-9.4	-25.8	-12.5	-13.3	-22.6	-11.1	-17.9	-17.9	-10.7	-9.6	-15.9
不足感(雇用人員)	-50.0	-41.9	-38.7	-51.6	-51.7	-58.6	-56.0	-57.7	-61.5	-44.2	-43.4	-36.2

■主要指標(地域別)

項目	北海道・東北			関東			北陸・中部		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-14.3	-20.0	-20.0	-7.7	-41.2	-38.2	-5.9	-28.6	-23.8
稼働状況(パチンコ)	-45.0	-37.5	-25.0	-42.3	-47.1	-41.2	-33.3	-36.4	-22.7
稼働状況(パチスロ)	-19.0	-53.3	-33.3	-18.5	-41.2	-50.0	-17.6	-50.0	-40.9
不足感(営業用設備)	-10.0	-6.3	-6.3	-7.4	-14.7	-23.5	-11.1	-13.6	-22.7
不足感(雇用人員)	-42.1	-40.0	-29.4	-55.6	-41.2	-38.2	-50.0	-50.0	-40.9

項目	近畿			中国・四国・九州			全体		
	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し	前回	今回	見通し
全般的業況	-46.2	-40.0	-46.7	-9.7	-25.0	-30.3	-13.0	-30.8	-31.1
稼働状況(パチンコ)	-53.8	-66.7	-60.0	-56.3	-36.4	-30.3	-45.5	-42.3	-33.9
稼働状況(パチスロ)	-15.4	-46.7	-53.3	-18.8	-24.2	-45.5	-16.9	-38.7	-44.3
不足感(営業用設備)	-23.1	-13.3	-20.0	-9.4	-3.0	-9.1	-10.7	-9.6	-15.9
不足感(雇用人員)	-53.8	-60.0	-60.0	-34.4	-39.4	-33.3	-44.2	-43.4	-36.2

■企業金融(資金繰り・貸出態度・借入金利)

項目	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者			全体		
	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回	前々回	前回	今回
資金繰り	-36.4	-21.1	-30.0	-9.7	-2.8	-9.7	10.0	0.0	6.7	-9.6	-6.0	-11.0
貸出態度	-4.2	0.0	-18.8	6.1	7.9	5.9	10.0	-3.8	3.4	4.6	2.4	-3.2
借入金利	-13.0	0.0	-6.7	-13.8	-12.9	0.0	-7.1	-4.0	-3.8	-11.3	-6.8	-3.4

＊全般的業況 n=118、稼働状況(パチンコ)n=119、稼働状況(パチスロ)n=119、資本投資気運(遊技機)n=84、資本投資気運(その他設備)n=84、不足感(営業用設備)n=119、不足感(雇用人員)n=119、資金繰り n=84、貸出態度 n=84、借入金利 n=84

＊小規模事業者＝3 店舗以下、中規模事業者＝4～10 店舗、大規模事業者＝11 店舗以上

■パチンコ景気動向指数(DI)調査とは

パチンコ業界における景気動向の判定を目的に、2000 年 6 月より四半期毎に実施しているアンケート調査。(株)エンタテインメントビジネス総合研究所と(株)シーズによる共同調査である。

■DI(Diffusion Index)とは

景気局面の総合判断や予測と景気転換点の判定に利用される景気動向指数のひとつ。数値化しにくい業況感を指標化できるので、景況の先行きを判定するために使われる。

DI 値は、調査対象企業に「良い」「さほど良くない」「悪い」というような選択肢の質問を行い、「良い」の回答構成比から「悪い」の回答構成比を差し引いて算出。DI 値は+100 から－100 の間をとるが、プラスならば景気拡大期、マイナスならば景気減速期と判断される。

■今回の調査について

調査対象：日本遊技関連事業協会、パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技産業経営者同友会、余暇環境整備推進協議会の 4 団体会員ならびにAclub(エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス)会員など、全国の有力パチンコ店経営企業

◇実施時期：

2019 年 12 月 12 日～2019 年 12 月 25 日

◇調査方法：

調査票をFAXおよび WEB アンケートにて送付・回収

https://www.eb-i.jp/description_of_business/di/

http://www.sees.co.jp/

◇回答状況：

84 企業、119 地域(複数の地域にまたがり事業展開する企業があるため、地域数は重複あり)

株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

〒110-0016　東京都台東区台東1-14-11　藤野ビル2階
Tel:03-5289-4751　Fax:03-5289-4752　Web:www.eb-i.jp

パチンコ業界のマーケティング
株式会社シーズ

〒110-0015　東京都台東区東上野2-20-1　晴花ビル2F
Tel:03-6806-0548　Fax:03-6806-0563　Web:www.sees.co.jp/

本書の一部または全部を無断で複写、複製、転載、データ化することを禁じます。

Copyright© 2020 Entertainment Business Institute, SEES Inc. All rights reserved.